

いづな学園グリーン・ヒルズ小学校 3・4年生への感想

〔児童の皆様へ〕

- リンゴの不作と地球温暖化に関する気候変動対策を結び付けていてとても良かったです。どのお話に対してもしっかり調べてまとめているのが分かりました。今後地球温暖化がこれ以上進行しないように、皆さんが教えてくれた対策が進んでいけばいいですね。ありがとうございました。
- リンゴの木が病気になった原因についてみんなで話し合っている姿が素晴らしいと思いました。また、原因を探るために農家さんにインタビューをするために、信濃毎日新聞の記者の方にお話を聞く、という学びの姿勢がすごく感じられました。そこから地球温暖化についてわかりやすくまとまっており、その後地球温暖化が進んだ結果についても説明があり危機感を感じました。私も今日から改めて気を付けようと思います。
- りんごを病気から守りたいという気持ちから、自分が地球環境を守るために何ができるのかということを考えていたのがすごいと思いました。これからも、自分たちに出来る些細な事でいいので、地球環境を守るためにできることを考えていってほしいと思います。
- 自分たちの身近な存在であるリンゴに関する身近な疑問を取り上げ、原因を自分たちで複数個挙げて、実際に専門家の方に聞きに行くのは、探究的な活動としてとてもいい活動であると思いました。また、リンゴの原因として挙げていた気候変動を詳しく取り上げて、どうすれば気候変動を少なくできるかというところまで意見を挙げていくことができていたことに加えて、自分たちにできる活動まで触れることができていいと思いました。
- りんごの木が病気になってしまった理由について気候や歴史、育て方などいろいろな側面から考えていて良いと思います。りんごの腐乱病の原因調査から地球温暖化の問題について知り、物事を発展させながら課題解決する姿はとても良いと思います。自分たちで何ができるのか考える、行動することも大事なことだと改めて感じました。
- リンゴの病気の原因を考えて調査や、いろいろな分野の人にアンケートを取るなどして、そこから地球温暖化の問題に繋げて学習したのが素晴らしいと思いました。リンゴだけでなく、他の身の回りのものからもSDGsについて考えることで、もっとSDGsの意識が広まると思いました。
- リンゴの木が病気になってしまった理由を細かく振り返って、仮説をたてて原因を調べるという活動が環境について考えるよい初めの一步になると思います。実際に育てて生計を立てている農家の方に聞いたり、気候変動について専門家に聞いたりと確かな知識を得て、わかりやすい説明でした。
- りんごのような植物と天気は密接に関係しているため地球温暖化が少しでも止められればと思います。私も私ができることを少しずつやっていこうと思います。みんなで温暖化対策に関する目標を立てたのがいいなと思いました。
- リンゴ栽培の中で起きた「腐らん病」の原因分析を通して地球温暖化について学習し、地球温暖化の具体的な対策を調べて、わかりやすくまとめられており簡単に地球温暖化について学ぶことができました。そして、地球温暖化の対策としてポスターを作成したり電気の節約、食品ロスの削減など一

人ひとり自身ができることを提示したりしていることも、自分ができることは何なのか真剣に考えていることが伝わってきました。

- 私も長野県出身で、親せきや知り合いに毎年長野のリンゴを送っています。今日の皆さんの発表で、地球温暖化によって長野のおいしいリンゴが食べられなくなるかもしれないと聞いたとき、私もそれはすごく嫌だなと感じました。皆さんが行っている節電などの対策は、リンゴ栽培だけでなく、世界の気候変動を防ぐことにも貢献しているので、とても良いなと思います。私も皆さんを見習って、長野のりんごのみならず世界の果物や野菜を守る努力をしていきたいです。
- 地球温暖化が進み、このままだとりんごが採れなくなってしまうことを初めて知りました。地球温暖化に対しての方向性について、グラフなどを用いて解決案をわかりやすく発表しているのがすばらしいと思いました。一人でも地球に優しい人が増えるように、少しずつみんなが地球温暖化について知り、行動をしていければよいと思います。
- 自分たちのリンゴ園の活動が気候変動とつながっていること、気候変動がいかに身近でかつ大切な世界的問題であるかを自分たちで気づいていること、がとてもよくわかりました。発表も見やすかったです。また、自分たちのできる行動をはじめていることもすばらしいです。この行動が家族、地域の人、と広がっていくことを期待します
- とても良い発表でした。リンゴが育たない原因が害虫だけでなく、他の原因についてもみんなで話し合っ候補を挙げて調べたことは素晴らしいです。その過程で、マスコミ、農家、気象台の人に話を聞いて、地球温暖化のことに結びついた。リンゴが育たないのは嫌だとの思いから皆でできる温暖化防止のアクションを7つも考えて、しかも一人ひとりが目標を決めて取り組むことになったことに感動しました。がんばりましょう。

〔教職員の皆様へ〕

- リンゴの病気から地球温暖化に焦点が変わる様子がよくわかりました。地球のために自分の生活からできることを調べて呼びかけを行っているのが素晴らしいと思いました。このままだと長野は、地球はどうなるのかをリンゴを通して肌で感じながら学びを行っていることがとても良いと思っし、危機感を持って自分にできることを探すことを私も行っていきたいと思える発表でした。
- 今回の発表では、自分たちが栽培しているリンゴの木が病気になってしまったところから世界の気候変動へと視野を広げていかれていたところが特に印象的に感じました。自分たちの身近な環境から世界へ目を向けていくことは、子どもたちにとっても地球環境を意識しやすい流れだったのではないかと想像できます。いきなり世界の気候変動をはじめとした地球環境に目を向けようとする自分事としてとらえられない難しさもあるように思いますが、皆さんは自分たちが大切に育てているリンゴの木が病気にかかってしまったことから動機づけられていたため、地球規模の問題について自分に関わっている問題であるという意識を持つことができているのではないのでしょうか。3・4年生の皆さんの発表から、改めて自分が日々生活している環境も地球全体の課題と結びついていることを再確認することができたとともに、日々の生活から何かできることはないかと改めて考えることができました。ありがとうございました。